

リンゴ病害虫の発生状況（9月上旬）

（1）リンゴ斑点落葉病

新梢葉での発生ほ場割合は平年並の状況でした（図1）。

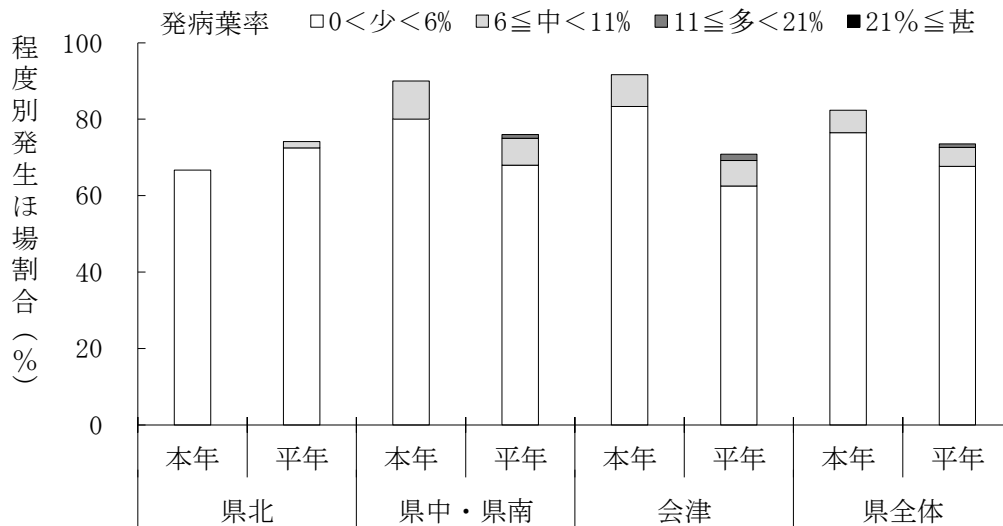


図1 リンゴ斑点落葉病の新梢葉での発生状況（9月上旬）

（2）リンゴ褐斑病

新梢葉での発生ほ場割合は、県北では平年並、県中・県南及び会津ではやや高い状況でした（図2）。本病の発生が多い場合は、晩生種に対し薬剤散布を実姉しましょう。また、本病原菌は主に罹病落葉で越冬するため、発生園では落葉を適切に処分し、菌密度低下を図りましょう。

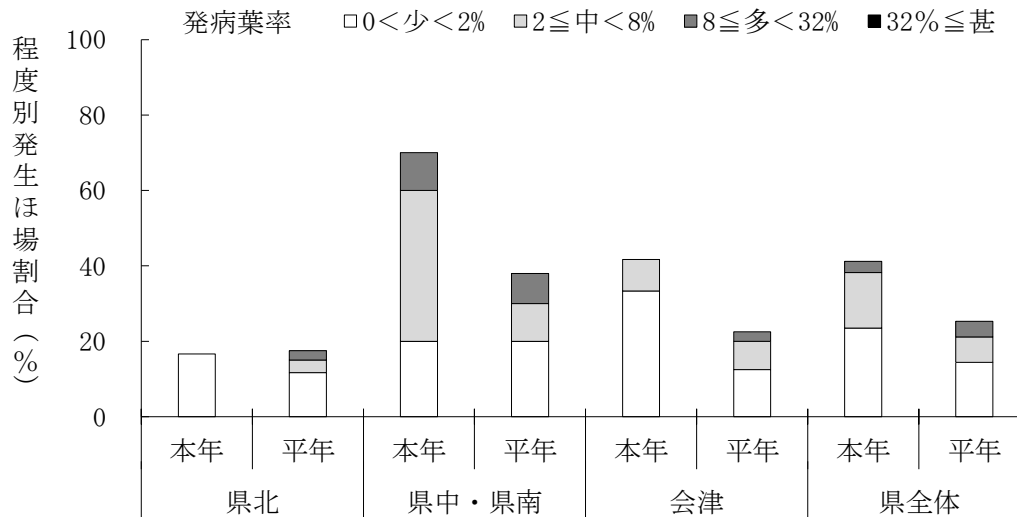


図2 リンゴ褐斑病の新梢葉での発生状況（9月上旬）

(3) リンゴ炭疽病

果実での発生ほ場割合は、平年並の状況でした（図3）。本病の発生が多い場合は、晩生種に対し薬剤散布を実施しましょう。また、罹病果は二次伝染源となるため、摘除し園外に持ち出すなど適切に処分しましょう。

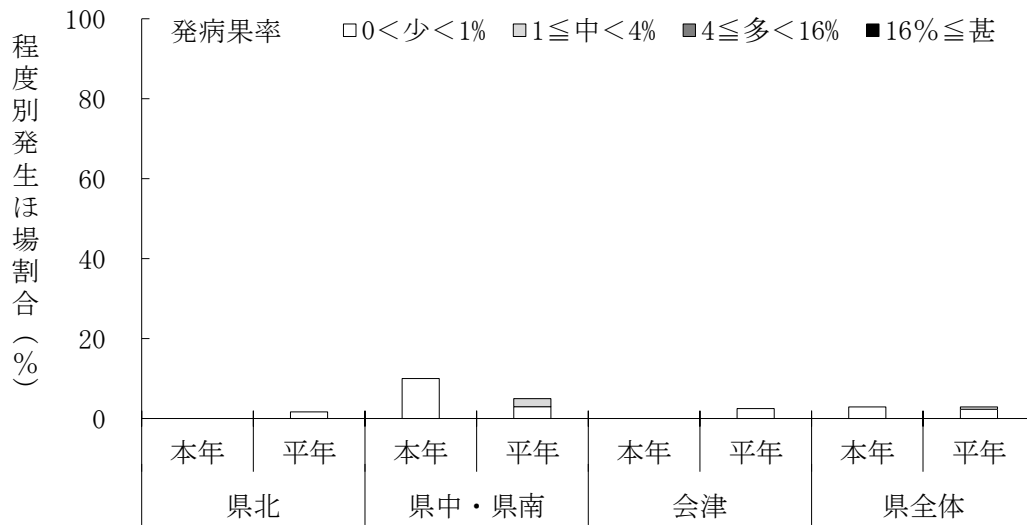


図3 リンゴ炭疽病の果実での発生状況 (9月上旬)

(4) リンゴ輪紋病

果実での発生ほ場割合は、平年よりやや多い状況でした（図4）。

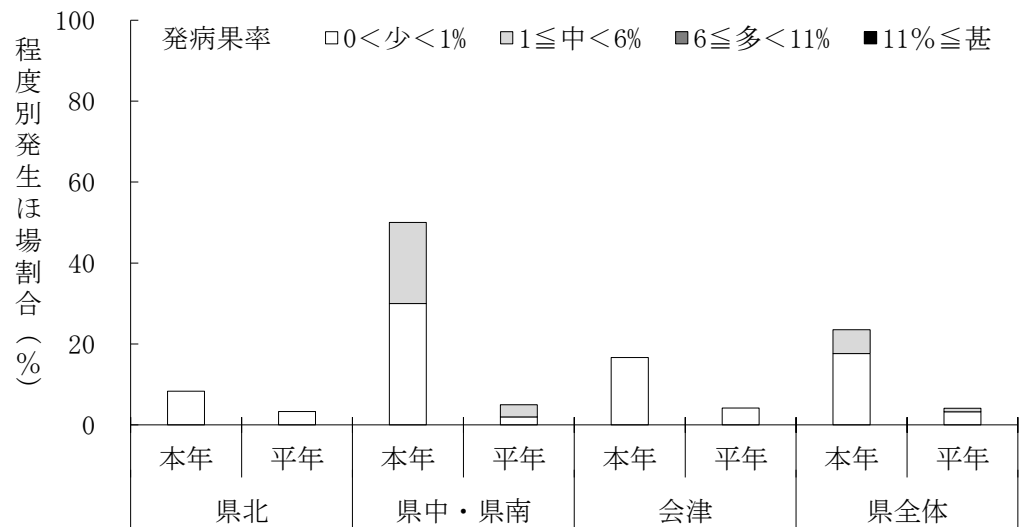


図4 リンゴ輪紋病の果実での発生状況 (9月上旬)

(5) リンゴすす点病、リンゴすす斑病

すす点病及びすす斑病の果実での発生ほ場割合は、中通りでは平年並の状況でした（図5、図6）。会津では発生が確認されませんでした。本病の発生が多い場合は、晩生種に対し薬剤散布を実施しましょう。

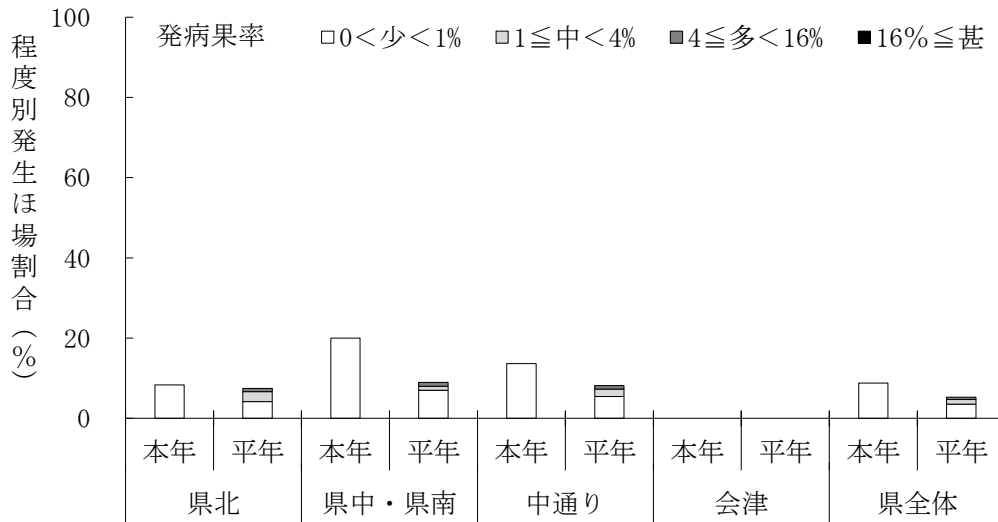


図5 リンゴすす点病の果実での発生状況 (9月上旬)

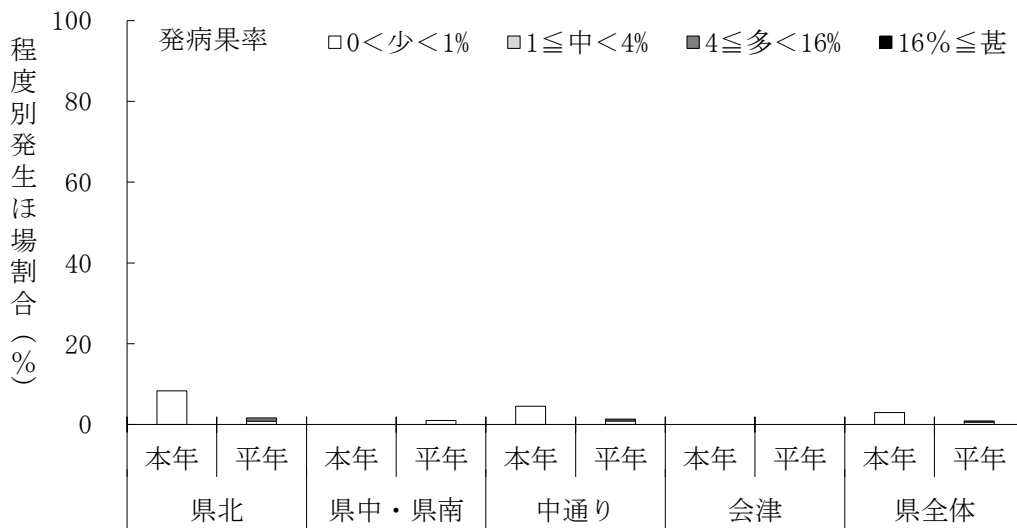


図6 リンゴすす点病の果実での発生状況 (9月上旬)

(6) ハマキムシ類

新梢、果実ともに被害は確認されませんでした。

(7) シンクイムシ類

果実での発生ほ場割合は、全域で平年並でした。

(8) ハダニ類

新梢葉での寄生ほ場割合は、中通りでは平年より低く、会津では平年並の状況でした（図7）。

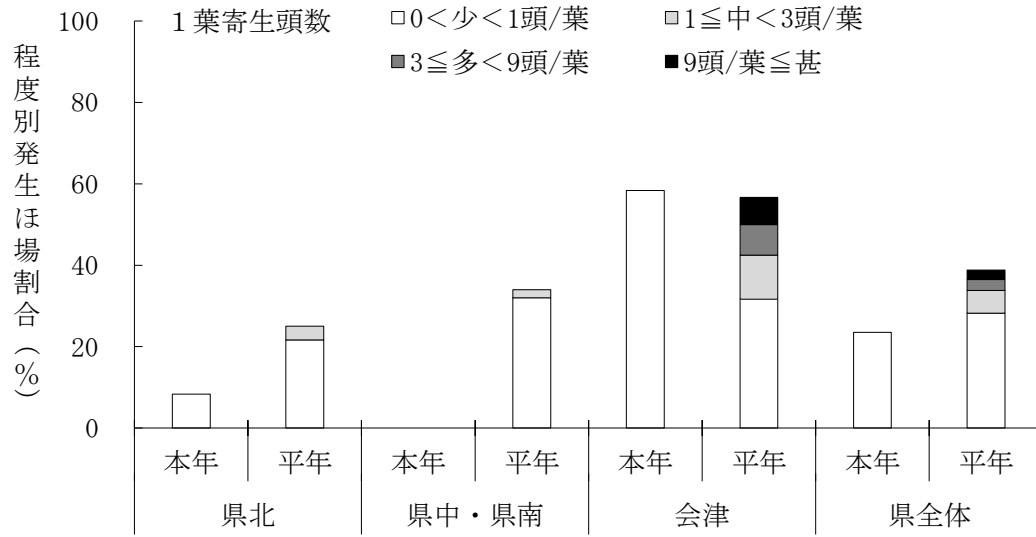


図7 ハダニ類の発生状況 (9月上旬)